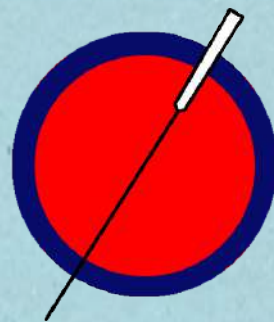


ACU 一般社団法人 岐阜県鍼灸師会会報誌

PUNCTURE



今年度も半分過ぎましたね。

後期の年会費の締め切りは11月30日です！

活動報告

- ①岐阜市親子スキンタッチ教室 (9月8日)
 - ②地域連携東洋医療生涯研修会 (9月8日)
 - ③仲野彌和先生の旭日小綬章受章を祝う会 (10月7日)
 - ④東海北陸ブロック会議 (10月19日、20日)
 - ⑤三県合同鍼灸研修会 (10月27日)
- ◆会員の活動◆ 南谷旺伯先生

お知らせ

全国大会in静岡1 (11月23日～24日)
災害医療研修会 (1月18日)
会員の皆様へ

一般社団法人 岐阜県鍼灸師会

事務局 岐阜市中西郷5-5-11

TEL/FAX 058-234-2230

メール gifu89shikai@yahoo.co.jp

◇活動報告①岐阜市親子スキンタッチ教室◇

報告者 高橋順子先生、高田幸枝先生、藤吉徳孝先生、松浦朱里先生

今回はこの4名で親子スキンタッチ教室を開催してきました。4名の報告書を掲載いたします。

広めよう、親子スキンタッチ！

高橋 順子

令和元年9月8日、(公社)岐阜県鍼灸師会 岐阜スキンタッチ会の親子スキンタッチにスタッフとして参加しました。会場となった岐阜市中央青少年会館は、初めての利用となりましたが、2017年から広報、普及、青年部長の松浦朱里先生を中心に回を重ねノウハウがあるお陰で、準備等にさほど時間を割くことなく開催することが出来ました。これもひとえに会を持続的に運営されてきた松浦先生のご尽力の賜物と思います。

今回は岐阜市の市民活動支援事業コンペに参加し助成を獲得してからの開催となりました。親子スキンタッチの質向上を狙ってのコンペで、私も参加させていただきました。コンペの準備は大変でしたが、参加してみて純粋に助成を獲得したことのみならず、大きな収穫もあったと私個人は感じました。コンペに参加された他団体さんは、市民に有益な活動を提供している既に実績のある団体さんでした。ここに上手くアナウンス等働きかけることも有益ではないかと思いました。

またアナウンスをするも実際参加いただけない事もあるかと思います。ですが岐阜県鍼灸師会で親子スキンタッチをしているということを知りていくことが、ひいては会員一人一人の治療院に還元されてゆく事にゆくゆくつながるのだと思います。また会で活動していることは、スタッフ側は後ろ盾あつての活動となりますし、参加していただく方には信頼をしていただけることとなりますので、一個人の活動よりしっかりしたものとなるかと思います。

実績を積み重ねてきていますので、今後は戦略的に進め、引いては開催地の各会員に岐阜県鍼灸師会を通して繋がる事が出来ればと感じました。会員の皆さん、一度親子スキンタッチに参加してみても如何でしょうか。





高橋先生が小児はりの説明をしています。前ページはお子さまがモデルとなり、小児はりの実技を。お利口ちゃんでした♪

親子スキンタッチ教室in岐阜に参加

副会長 高田 幸枝

9月8日、岐阜市にある中央青少年会館にて親子スキンタッチ教室を開催しました。今回は11組の親子が参加されたので、大変にぎやかな会になりました。

前回と同様に終了後、アンケートを記入してもらいましたので高山と合わせて報告をしたいと思います。全部で18名の結果をいただきました。

①お子さまと過ごす中で困りごとはありますか？

【はい：15名、いいえ：3名】

②「はい」と答えた方の困りごと

多い順に【キーキー声、寝ぐずり、便秘、下痢、風邪をひきやすい】

③お子さまと過ごす時間で大変だと感じる時間（複数回答あり）

【朝：3名、昼：1名、夕：7名、夜：5名】

④家族構成

【核家族：10名、拡大家族（祖父母-父母-子）：7名、ひとり親：1名】

⑤ワンオペ育児であるか？

【はい：4名、いいえ：14名】

といった結果でした。また、教室を知ったきっかけは、

【鍼灸院：5名、友人に勧められて：11名、チラシ：2名】

で、フェイスブックからの参加はいませんでした。

多方面にチラシを配布していますが、チラシからの参加者は低いのが現状ですので告知方法を工夫することが重要かと思えます。

「内容はわかりやすかった」という問いに対して、全ての参加者から「はい」という答えをいただきましたので教室の進行方法は問題がないと思われま

す。今年度は岐阜市市民活動支援事業の採択事業に選ばれましたので、認知度も上がったと思います。来年度も引き続き活動を続けていきたいと思

松浦先生がスキン
タッチのデモを。
参加者の皆さんは
真剣に聞いてくだ
さっています！



岐阜市市民活動支援事業に応募・採択されました

岐阜スキンタッチ会 松浦 朱里

岐阜市・親子スキンタッチ教室終わりました！ 9月8日岐阜市中央青少年会館にて、親子スキンタッチ教室が開催されました。今回は前回の各務原親子スキンタッチ教室のメンバーと同様、藤吉徳孝会長、高田幸枝先生、高橋 順子先生、松浦朱里の4人で執り行いました。参加者は今までの最多、11組30名のご家族がご参加くださいました。それ以前にキャンセルが2組ありましたので、13組36名となっております。メンバー4人、開催経験者でもありますので、準備や受付などスムーズに行うことができました。お子さま達は自由に動き回って初めましてのお友達と交流する可愛い姿が見られるのも親子スキンタッチ教室ならではのなあと感じます。小さいお子さまがいるとなかなか話を聞けないこともありますが、小児はり、スキンタッチのデモンストレーションが終わりましたら各グループに分かれて実践していただきます。その時に聞けなかったところなど補足説明などしています。スキンタッチをやる前とやった後の変化を見ていただいたり、やり方のコツなどをお伝えして終了いたしました。

私は2児の母なのですが、他にいろんな赤ちゃんサークルなどに個人的に通っていたりしました。そういった場合は、お子さま向けに作られていて危険もありませんので、そういったところを踏まえて来年度もより良い教室にして開催していきたいです。

9月8日、岐阜市中央青少年会館にて、親子スキンタッチ教室を開催しました。早いもので、8回目の開催でした。今回は11組30名の親子が参加してくださいました。松浦朱里先生（スキンタッチデモ担当）、高橋順子先生（小児はりデモ担当）、高田幸枝先生（受付）、藤吉（司会進行担当）の4名でした。

いつもながら、お子さんが自由に動き回り、泣き・笑い有りと賑やかな教室となりました。初めての参加の方ばかりで、メモを沢山取りながら聞いている方も多かったように思います。実技の時や、最後の質疑の時にも多くの質問が出てきました。

スキンタッチは治すわけではありませんが、親子のスキンシップの一つとして楽しみながら子育てをして頂くための簡単な方法です。今後も、より良い教室開催をしていくために、皆さまのご協力をお願いします。

スキンタッチスタッフとして参加しませんか？

毎度のことながら、岐阜スキンタッチ会はスタッフを募集しています！

募集要件は・・・

★免許保有者証がある（ない方は来年度8月末までに申請お願いします！）

→これは無資格者が行う教室と差別化を図るため、参加者に有資格者がお伝えするという安心感を与えるためです。）

★スキンタッチをやりたい！という思い

→大事です。参加する前に必ずスタッフで顔合わせ、台本の読み合わせ等行います。他の先生方と交流できる絶好のチャンスです（^^）

★「岐阜スキンタッチ会」LINEグループに加入

→連絡はLINEにてスムーズに行いたいので、加入をお願いします！

今年度は2名の先生にスタッフとして加入していただきました！それぞれの先生方が交流しながら、スキンタッチを広めていけたらと思っています。先生方のご参加、心からお待ちしています！

岐阜スキンタッチ会 松浦朱里

◇活動報告②地域連携東洋療法生涯研修会◇

報告者 松浦朱里先生、塚田真梨先生

9月8日午後に行われた研修会の報告書です。

小児科医・篠田邦大先生の研修を終えて

理事 松浦 朱里

地域連携東洋療法生涯研修会
基礎から学ぶ子どもの病気と漢方全般
2019年9月8日(日) 13:00(受付)～16:45
会場:ハートフルスクエア-G 中研修室
(JR岐阜駅東。駅構内から2階連絡通路で通っています)

第1部 13:30～15:00
「小児科医から伝えたい子どものミカタ」
講師:篠田邦大先生(岐阜市民病院小児科部長)
(公社)全日本鍼灸学会中級支援認定A講座

第2部 15:15～16:45
「漢方医学の基本概念とその運用」
講師:柴原直利先生(富山大学和漢医薬学総合研究所教授)
(公社)全日本鍼灸学会中級支援認定A講座

参加費
～受講対象:鍼灸士、医師関係者、保育士等～
会員:3,000円(公社)全日本鍼灸学会、(公社)日本鍼灸師会
3,500円(公社)岐阜県鍼灸マージナル会
一般:4,000円(上記会員外)
学生:1,000円(学生証提示)

問合せ(一社)岐阜県鍼灸師会(H.Pにて要旨公開) 事務局(垣内 壽吉)
TEL: 055-234-2230 メール: gifu99shikai@yahoo.co.jp



9月8日、午後からは岐阜市市民活動支援授業で採択された「小児の皮膚を医師から学ぶ研修会」から岐阜市民病院小児科部長 篠田邦大先生をお招きし、「小児科医から伝えたい子どものミカタ」研修会を行いました。

この事業は、3年前から活動している親子スキンタッチ教室のスタッフの資質向上のため今年度の春に申請をして採択されたものでした。採択が決定してから篠田先生にお願いの挨拶へ向かい、当初小児科医の学会へ出席されるご予定があったのにも関わらず快く承諾していただきました。

内容は期待以上の大変勉強になる内容でした。医療機関へかかるタイミングや子どもの診察のコツなど、あの短時間で多くの情報を得て診られていた事に驚きました。そして、小児はりの中で訴えが多い夜尿や癩癧、夜泣きについて「病気」と定義づけられていない分、小児科医は診察診断処方が難しいとのことでした。しかし、年々認識が変わっていることや、癩癧は発達障害も含めて認識しておいた方がよいこと、そして夜泣きについてはワンオペ育児などで孤立する母親を追い詰めることもあり、それが虐待につながることもあるということをお話してくださいました。

子どもを育てということは、母親、父親が主体なのは当然ですが、時に追い詰められることがあります。そういった場合は小児科医などの医療機関、行政機関なども含め、地域で子どもを育てる大切さを再認識できました。そして鍼灸師は、その中でどんな事ができるかを今一度よく考えさせられた研修会でした。この研修会を→

→きっかけに、より多くの方にスキントッチの良さを伝えたいと思いました。

岐阜市民病院小児科部長、篠田邦大先生、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。



左の写真は実際のスタッフの子どもで診察デモ！短時間で診るところの多さにびっくりです！

漢方医学の基礎概念とその運用に関する報告書

塚田 真梨

二席目はNHKきょうの健康でもお馴染みの富山大学和漢医薬学総合研究所柴原直利教授をお招きし、車の両輪に例えられる鍼灸ときっても切り離すことのできない漢方薬についてのご講演を頂きました。柴原先生は、下呂温泉病院にて勤務されていたこともあり、岐阜県に縁のある先生です。

漢方方剤は今日、医師の日常診療において89.0%の処方率を有する身近な薬剤となりました。鍼灸院に来院する患者さんの中でも漢方方剤を服用している方も少なくありません。今回の研修会は鍼灸師、マッサージ師のみならず医師、看護師の方々の参加もあり、漢方医学の基礎知識である病因（内因、外因、不内外因）、陰陽虚実、六病位、気血水、五臓論について、東西両医学の医療従事者に対して症例を交えながら、漢方方剤を陰陽虚実の座標軸に分類しシエーマを用いて、ロジカルにわかりやすく解説して頂きました。

また機会があれば漢方医学について話に来てくださるとのことでしたので、今回参加を断念された方も是非、次回開催を楽しみにしていらして下さい。



優しい口調で柴原先生にご講義いただきました。遠いところ、ありがとうございました！

◇活動報告③仲野彌和先生の旭日小綬章受章を祝う会◇



10月7日、三重県四日市へ。

報告者 藤吉徳孝先生

仲野彌和先生 旭日小綬章受章を祝う会

会長 藤吉 徳孝



10月7日、三重県にあります都ホテル四日市にて「仲野彌和先生 旭日小綬章受章を祝う会」に出席してきました。代議士からロータリークラブ、鍼灸、柔整等の関係者を含め、300名以上出席の盛大な式典となりました。仲野彌和先生は、平成23年から4期8年間、(公社)日本鍼灸師会会長として全国を飛び回り、多くの功績を残してくださいました。三重県の先生ですので、同じ東海地方の先生として、岐阜県とも非常にご縁があります。

日本鍼灸師会会長として、療養費の受領委任制度、介護分野の機能訓練指導員への参入、東京オリ・パラでの医療ボランティアの参加体制構築、災害時の支援体制の構築、日本鍼灸の海外への普及啓発等、数多くの功績を残されました。これは、仲野彌和先生が会長であった事で達成出来たと思います。

あらためまして仲野彌和先生の叙勲受章、おめでとうございます。



◇活動報告④東海北陸ブロック会議◇

報告者 小椋賢二先生、藤吉徳孝会長

10月19日～20日行われたブロック会議の報告書です。

ブロック会議報告書

理事 小椋 賢二

今回、三重県四日市市にて日本鍼灸師会ブロック会議が開催されました。

今年度よりブロックの地域編制があり、新たに東海・北陸ブロックとなり、岐阜、愛知、三重、静岡、富山、石川が同じブロックとなりました。

ブロック会議では、主催県以外は各県から2名～3名が参加し、主に、今後の日本鍼灸師会の活動についての質問や、日本鍼灸師会や各師会から出された活動報告について深い議論が交わされました。

新たに今年に報告された内容として、伝統医療基本法の進捗状況、WHO-ICD11、企業内鍼灸、鍼灸師の機能訓練指導員について、全国大会in静岡、業団体の今後の方向性など、鍼灸師の近未来について明るい話題が多くありました。

会議は有意義な議論が展開され、多くの情報が報告され閉幕しました。

来年の秋には、三重とこわか国体、三重とこわか大会が開催されます。

近隣県の先生方もサポートには参加が可能との事ですので、興味がありましたら岐阜県鍼灸師会事務局にお尋ねください。



令和元年度 (公社) 日本鍼灸師会東北ブロック会議

会長 藤吉 徳孝



10月19・20日、三重県にありますプラトンホテル四日市都ホテルにて、令和元年度 (公社) 日本鍼灸師会東北ブロック会議が開催されましたので、小椋賢二理事と私で出席してきました。

今年度はブロック編成があり、昨年までの中部ブロック会議ではなく、愛知県・静岡県・三重県・富山県・石川県・岐阜県の東海北陸ブロック会議となりました。

今後のブロック会議の運営についてから始まり、静岡県からの全国大会についての途中経過報告組織強化のための取り組み、IT化に伴う対応、災害時の連携、広報活動や業団の今後の方向性、日本鍼灸師会の活動や、ブロック内各師会から出された報告や質問等、かなり多くの議題となりました。その中で広報について、三重県ではマスコットキャラクターを作製し、キャラクターを使用しながら一般に情報発信するという事を行うといった活動もされていました。

今回議論された問題点については、岐阜県でも改善していかなければならない課題が沢山有ると感じました。

◇活動報告⑤三県合同鍼灸研修会◇

報告者 藤吉徳孝先生、高田幸枝先生、小椋賢二先生、高橋順子先生、渡辺かおり先生
松浦朱里先生

第53回愛知・三重・岐阜三県合同鍼灸研修会in岐阜
おきゅう
第1部 10:30~12:00
Moxafricaの国際活動 今後の展開
Moxafrica Japan 山田美久先生
ランチタイム 12:10~13:30
おきゅうのこぼればなし
亀屋佐京商店 松浦達修先生
第2部 13:30~14:30
透熱灸から電子温灸器まで 灸の教育現場からみた伝統灸学の課題
明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科教授 和辻直先生
第3部 14:30~15:30
伝統灸実技 墨灸
（一社）滋賀県鍼灸師会副会長 井出健先生
日時 10/27 sun 10:30~16:30
会場 ハートフルスクエアG研修室50
〒500-8523 岐阜県岐阜市南本町1丁目10番地2号
定員 45名
※先着順、定員になり次第、締め切ります。
お問合せは 主催（一社）岐阜県鍼灸師会 〒501-1177 岐阜県岐阜市中西區5-5-11
TEL: 058-234-2230 MAIL: gifu@shikahaiyohoo.co.jp

非常に内容の濃い研修会でした。お灸ってすごい！

三県合同鍼灸研修会に参加して

理事 小椋 賢二

毎年、岐阜・愛知・三重の持ち回りで合同研修会が岐阜

で開催されました。全ての講座が「お灸」というのは初めての試みでした。

Moxafricaの国際活動—今後の展開—では、お灸の普及活動の報告、国連会議に参加した報告等、国際的なお灸の話聞くことができました。

明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科教授 和辻直先生は、電子温灸器の製品制作に関係した理由や、日本のお灸に関する国際情勢を含め、幅広くご講義をして頂きました。

亀屋佐京商店 松浦達修様のお灸のこぼればなしでは、歴史を含めた伊吹山を取り巻くヨモギの話や、お灸が製品になるまでの話など、普段では聞けない内容を面白くご講義をされました。

滋賀県鍼灸師会副会長 井出健先生の伝統灸実技では、滋賀県のみで行われている「墨灸」を体験する機会があり、「墨灸」の歴史、臨床報告、実技と興味深い講義でした。

お灸は、東アジアでは知られていても、東アジア以外の地域では、殆どお灸の施術をしていないという事や、お灸を施術しても、皮膚を焼くようなお灸をしないという事も知れました。

Moxafricaや明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科教授 和辻直先生の講義の中で、世界的にもお灸の研究が少ないという事や、今後、日本においても、「日本の灸」の研究報告が増えるよう希望しているとの話がありました。

参加者はMAXの45名が受講されましたが、今回の三県合同研修会は、事前申し込みでいっぱいになったので、受講できなかった人も多くいたようです。

第53回三県合同鍼灸研修会を開催しました

学術部長 高田幸枝

10月27日に第53回愛知三重岐阜三県合同鍼灸研修会を開催しました。本会からは9名が受講されました。愛知県からは15名、三重県からは7名が参加され、ほかにも学生や非会員、全日本鍼灸学会員などで総勢41名の参加がありました。会場の広さの関係で10名ほどの参加希望者をお断りしたほどの盛況でした。

今回のメインテーマは「お灸」です。第1部の「Moxafricaの国際活動 今後の展望」についての講演ではMoxafrica Japanの山川義人先生がMoxafricaについての活動をお話しされました。アフリカに限らず発展途上国では結核やエイズなどの感染症で多くの死者がでています。これらの患者に抗生物質を多く服用することで薬剤耐性結核といった新たな感染症を引き起こしています。薬に頼らずにお灸で免疫力、抵抗力を高めようといった活動をイギリスのチャリティ団体が行っているのに共感してMoxafrica Japanが設立されたそうです。

具体的な活動としては、お灸の仕方（足三里に1～2部灸、米粒大）を現地の看護師や医療従事者に伝えたあと、彼女たちが患者にお灸を指導するそうです。患者たちはセルフケアとして毎日施灸することで感染症の予防になり実際に効果があったという論文も投稿されています。お灸というと熱くて水泡ができるイメージですが、1～2部灸の温かい熱でも艾の薬効成分が浸透するのでしょうか。大変興味深い講演でした。Moxafrica JapanのHPアドレスですので詳細をご覧ください。<https://www.moxafrica-japan.com/>

日本でも抗生物質の多剤によって新たな感染症のリスクは高まっています。我々もお灸の指導をしていくことが必要だと思いました。



第53回愛知・岐阜・三重三県合同研修会に参加して

高橋 順子

今回、スタッフとして参加させていただきました。講師選定から関わらせていただきました。

研修会のテーマが具体的であったこともあり、テーマである「お灸」に沿って世界事情、作り手の世界、科学的基礎講義、臨床実技とバランスよい研修内容だったかと思います。普段聞くことのない貴重な話が研修会、懇親会を通し伺うことができ大変有意義でした。

事前申し込みの時点にて満員御礼でお断りする事態となっていましたが、残念なことに参加者の構成は岐阜県会員が少なかったです。来年は愛知県での開催との事、企画立案をチラッとお聞きしましたが期待しています。また皆さんも参加してみてはいかがでしょうか。



墨灸体験！

松浦 朱里

10月最後の週末に三県合同鍼灸研修会に参加してきました。「おきゅう」というシンプルなテーマで、それぞれの講師の先生方のお話も非常に楽しみにしておりました。そんな時、第3部の「伝統灸実技 墨灸」の滋賀県鍼灸師会の井出健先生の墨灸実技を、私の子どもを使ってモデルになってもらえないかと藤吉会長からお願いがあり、ぜひぜひ！と子どもと一緒に参加しました。→

→実際の墨灸は、まず小児はりで頭、腕、お腹、背中、足をさすります。陰経も行ってたのが印象的でした。そのあと綿棒に墨を点け、チョン、チョン…と手足2穴ほど、背中4穴ほど、お腹2～3穴、おでこ髪の生え際3穴と墨灸を施していました。（点けたらティッシュオフ）実際私も体験しましたが、ただ墨をつけるのではなく、その墨の中には生薬が配合されており、皮膚につくとピリッとするような感覚がありました。間近で実技が見られ、貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました！

当日は子どもと一緒にの参加はやはり限界がある…と思いつつ、会場がハートフルスクエアGでしたのでその施設の中に子どもの部屋という無料で遊べるスペースがありましたので、そこで遊ばせたり、moxafricaの山川先生が近くに座ってみえて子どもたちとコミュニケーションを取ってくださったりしたのが大変ありがたかったです。参加された先生方もあやしてくださったり、声をかけてくださったりしていただき誠にありがとうございました！最後に、おでこなどにしてもらった墨灸写真を自宅にて撮りましたので見てください^^



三県合同研修会

渡辺 かおり

10月27日、三県合同鍼灸研修会が開催されました。テーマはお灸。「moxafricaの国際活動」をmoxafrica japanの山川義人先生、ランチオンセミナーを亀屋佐京商店の松浦達修先生、「透熱灸から電子温灸器まで」を明治国際医療大学教授の和辻直先生、実技として墨灸を滋賀県鍼灸師会の井出健先生にご講演していただきました。

moxafricaさんの活動はNHKの放送で知ってはいましたが、お話を聞くのは初めてでした。足三里へのお灸を伝え、お灸の支給して結核に苦しんでおられる方々を少しでも... という思いが伝わってきました。

和辻直先生のお話では、お灸の作用機序、学校教育の現状、電気温灸器の特徴などをお話していただきました。

井出健先生の墨灸では、墨灸の歴史、原料、製法、症例などを講義していただき、最後に実技をしていただきました。私自身、お恥ずかしい話しですが、墨灸を初めて知ったのですが、実際に手にしていただくと少しピリピリする感じがしました。

どの演題も興味深いお話しばかりで、とても勉強させていただきました。ありがとうございました。

第53回三県合同鍼灸研修会in岐阜

藤吉徳孝

10月27日、岐阜駅直結、ハートフルスクエアGにて、第53回三県合同鍼灸研修会in岐阜が開催されました。岐阜県としては昭和40年より参加している研修会ですが、非常に歴史の長い研修会です。事前参加で受け付けを開始し、締切期日前には定員となり参加申込みを締め切りました。

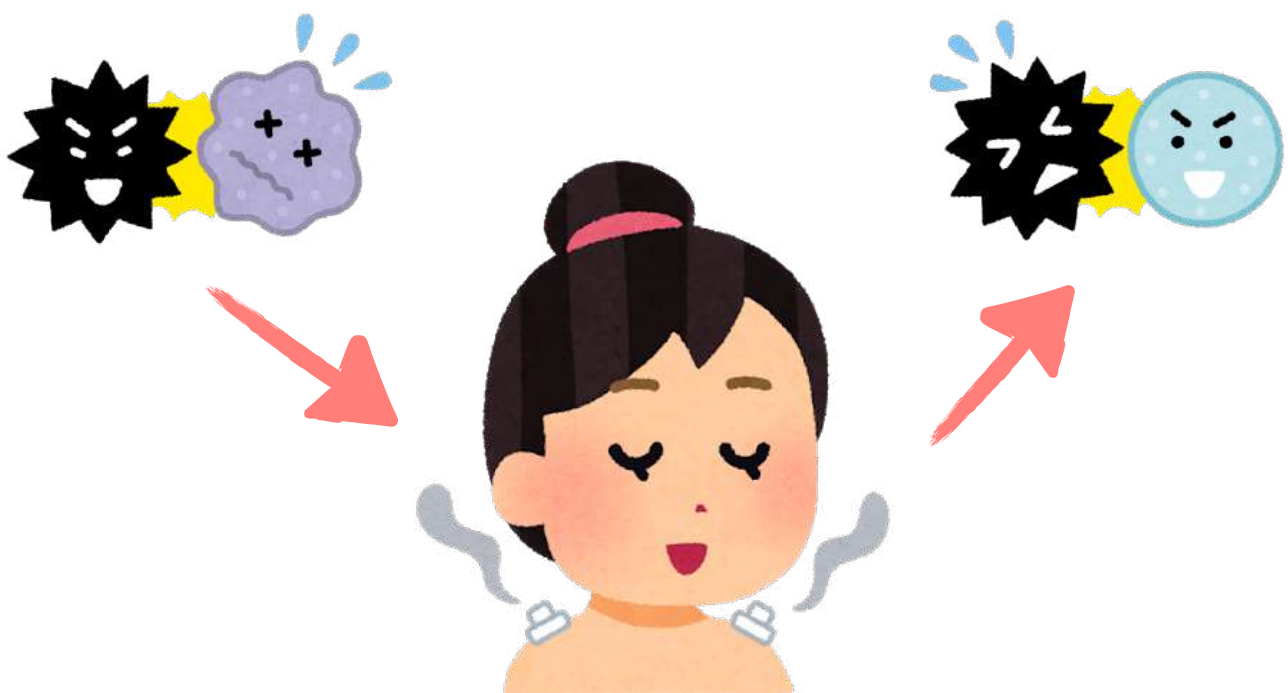
今回のテーマは「おきゅう」。なかなか、お灸のみで研修会を開催する事は少ない。昨年、愛知県と三重県の先生方より、「おきゅうをテーマにしてほしい。」と要望を伺い、開催まで準備して参りました。→

→1コマ目は、「moxafricaの国際活動 今後の展開」。moxafricaの山川義人先生。今回は、偶然にも日本に帰国していたmoxafrica理事である伊田屋幸子先生もご参加くださいました。原志免太郎先生の論文をもとに、海外でお灸の施術を行う。「お灸で結核の治療にあたる」との内容でした。

ランチオンセミナーは、今回の研修会にご協力いただいた亀屋佐京商店の松浦達修代表。普段は、鍼灸学校にて艾の製造についての講義を行っているのですが、今回は初の内容、「おきゅうのこぼればなし」。所々笑いを入れながら、亀屋さんやお灸の歴史を、その時代背景に照らし合わせながらご講義くださいました。

2コマ目は、「透熱灸から電子温灸器まで」。明治国際医療大学教授の和辻直先生。お灸の教育現場での現状や、電气温灸器の開発に協力した理由。そして、電气温灸器を院に導入するという事は、その後どうしていくのか。展開を考えての事だという深い意味についてもご講義くださいました。

3コマ目は、「伝統灸実技 墨灸」。日本で唯一、墨灸を行っている滋賀県鍼灸師会の井出健先生。秘伝の墨灸、そしてその作り方。そして歴史についての説明。小児はりと墨灸での臨床報告。最後は、実際にお子さんの診方から墨灸までを行いました。その中で、お母さんと、そしてお子さんとの接し方も見る事が出来ました。最後に、参加して下さった先生方も墨を一点から数点付けて体験していただきました。



◆会員の活動・南谷旺伯先生◆



今回は南谷旺伯先生に執筆いただきました。いつも優しい笑顔の先生。執筆いただきありがとうございました。

夢の はり術 (Dream acupuncture)

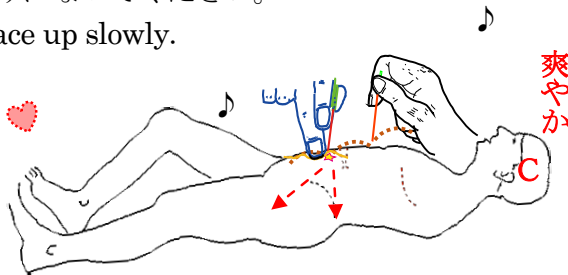
はり師 南谷旺伯



此処に極めて細く淡麗な一本の毫鍼がある。
ちょうど、若い女性が来院され“疲労感”を訴える。
勿論、痛くない“はり術”を求められる。

ゆっくり仰向けになってください。

Please lie face up slowly.



リズムカルな 肌皮刺激

We do not insert needles. 鍼は刺入しません。

We treat body by only touching the skin.

肌皮に少し触れるだけです。

極めて軽微で 心地が良い“はり施術”。

鍼尖を肌皮へアタルカ、アタラヌカ・・・絶妙な手技で、
点から線、線から帯、帯から網目、面状へと添指ノックで間合いを取りながら、明るく、楽しく、リズムカルに皮部刺激を展開する。

皮部刺激の構成要素；

脈気

手技

使用鍼；毫鍼（微鍼）、長さ30mm、太さ0.12mm。

藏府、経絡～（脈気往還）～ 腧穴；脈気連繫。

感覚・反射；膚腠空殻之紋理、精神情緒、皮部感覚。

按し手、刺し手；触れる、敲く、撫でる・・・手技。

皮部刺激の魅力；

- 1) 安心、安全である。
- 2) 刺し痛みや、組織損傷がない。
- 3) 優しい刺激、好い身体的気分。
- 4) 老若男女、誰にも優しい施術。
- 5) 多くの臨床症状に応用できる。

自然治癒力の賦活、
免疫力の向上。
疲労快復、体質改
善、
未病への対応など。

修得が困難な理由；

文字、文章など不慣れな古医籍の参考文節が多い。
古代中国の思想である陰陽五行論の整合、生命活動体、
および病因、病機などの理解が求められる。
経験、勘、および修練などの積み重ねに頼る面が多い。
亦、長期間の修練はマンネリ化に陥り易い傾向もある。

はり施術時の注意事項；



即効を求めず。

濡れた肌皮、皮膚損傷（アトピー癢痒部、熱傷部、火傷部、
刺傷部、金瘡部、瘡癰など）には不適応。

決して穿皮（切皮）しない。肌皮を優しく守護する。

夢の“はり術”へ精進；

今後は生機、病機を学び、診察虚實、補瀉手技など、
課題が山積の中、明かるく、楽しく、ざっくばらん・・・
夢の はり術 Dream acupuncture へ日々精進をさせ
て頂ける仕合せに感謝しつつ・・・（合掌）

2019（令和元年）錦秋

岐阜県羽島市舟橋町2-97 はり師 南谷旺伯

◇全国大会IN静岡が開催されます！◇

11月23日、24日と浜松市にて開催されます。事前申し込みの期限は11月19日(火)まで延期されました。ぜひこの機会に、ご参加ください！



第15回 公益社団法人日本鍼灸師会 全国大会 in 静岡



鍼灸の可能性を探る
鍼灸の恩恵を全ての人に

浜名湖と首山寺温泉 日本で唯一ここにしかない湖上を渡る絶景のロープウェイ【かんとんしロープウェイ】

徳川家康が17年間在城した浜松城は、江戸幕府300年の原点となった出世城(会場から徒歩5分)

2019年(令和元年)

11/23^土24^日 勤労感謝の日

会場 ホテルコンコルド浜松

参加人数 約500人
静岡県浜松市中区元城町109-18 TEL.053-487-0990

参加費 会員 10,000円(当日12,000円) 非会員13,000円(当日15,000円)
学生 3,000円(当日4,000円) 団体学生 事前申込 2,000円(5名以上)

申込先 西鉄旅行株式会社 TEL.092-525-2211 担当:池田
申込用ホームページ <https://www.nishitetsutavel.jp/nics/harikyuu15/>
大会へのご参加は、こちらからお申し込みください→

- 主催/公益社団法人日本鍼灸師会 ■主催/公益社団法人日本鍼灸師会東海北陸ブロック
- 後援/浜松市、公益社団法人全日本鍼灸学会、公益社団法人東洋療法学校協会、公益財団法人東洋療法研修試験財団、公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、公益社団法人静岡県視覚障害者協会、静岡県保険鍼灸マッサージ師会
- 歓迎演奏/浜松市立北浜中学校和太鼓部 轟神太鼓(11/23 土曜日 11:45~)
- 担当/公益社団法人静岡県鍼灸師会 ■大会事務局/第15回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会事務局
〒442-8001 静岡県浜松市西区西山町2375-8 TEL.053-485-5465 大会委員長 大塚 敦正



静岡 空港リムジンタクシー JR東海道新幹線
富士山静岡空港 - JR浜松駅(車予約)乗継あり約1時間
自動車 富士山静岡空港 - 浜松IC 約1時間
シャトルバス 中部国際空港 - JR浜松駅 約2時間
東京 - 浜松 約1時間30分(ひかり)
名古屋 - 浜松 約30分(ひかり)
大阪 - 浜松 約1時間30分(ひかり)

11/24日 県民公開講座 参加無料

9:00-10:25 講演会 10:45-11:45 落語会

講師 平方 眞先生
変和病院 副院長(長野市)
出演 瀧川 鯉昇師匠
落語芸術協会理事(浜松市出身)
「終わっていく命と どう向き合うか」
~多死社会に必要な心構え~
こちらから
お申し込みください
zjnggangxian@gmail.com
定員に達した場合は、お申し込みをお断りする
場合がございます。予めご了承ください。

大会プログラム 1日目 11月23日(土)

11:00

受付 11:00～

11:45～浜松市立北浜中学校 和太鼓部 [龍神太鼓] で、お出迎え!

12:00

M1 (葵の間)

M2 (萩園の間)

S1 (花菖蒲の間)

12:00～ 開会式

13:00

M1-1 12:40～14:40
【シンポジウム】
「鍼灸の可能性を探る
鍼灸の恩恵をすべての人に」

M2-1 12:35～14:00
【一般講座】
「美容鍼」
鈴鹿医療科学大学
保険衛生学部准教授
鈴木 聡 先生

S-1 12:30～
鍼灸学校による
研究発表
競技大会等

14:00

日本鍼灸師会
小川 卓良 会長
仲野 彌和 監事
中村 聡 副会長
静岡県内鍼灸学校関係者

M2-2 14:05～15:30
【一般講座】
「難治性顔面神経麻痺の鍼治療」
—医療連携に向けた取り組み—
東京女子医科大学
東洋医学研究所 蛭子 慶三 先生

15:00

M1-2 14:50～16:20
【一般講座】
「脳血管障害後の
後遺症に対する鍼灸」

M2-3 15:35～17:00
【一般講座】
「痛みの最新情報」
明治国際医療大学
鍼灸臨床学部長
伊藤 和憲 先生

16:00

東京大学医学部付属病院
リハビリテーション科
鍼灸部門主任
粕谷 大智 先生

17:00

17:30

ウェルカムミュージック きらりん

17:30～19:30 2階「雲の間」にて意見交換会

19:30

大会プログラム 2日目 11月24日(日)

9:00

M1-3 9:00～10:25
【県民公開講座】
「終わっていく命と
どう向き合うか」
～多死社会に必要な心構え～
愛和病院副院長 平方 眞 先生

M2-4 9:00～10:25
【特別講演】
「私の競技人生」
パラリンピック陸上競技
日本代表選手
春田 純 氏

S-1
9:00～11:30
鍼灸学校による
研究発表等
鍼灸実技講習会

10:00

11:00

M1-4 10:45～11:45
【県民公開講座】
「落語」瀧川 鯉昇師匠

M2-5 10:35～12:00
【鍼灸実技講座】
「実践! 誰にでもできる
脈診流経絡治療・実演」
森ノ宮医療大学非常勤講師
中野 正得先生

12:00

12:00～ 閉会式

(一社)岐阜県鍼灸師会災害支援鍼灸師養成講座

(公社)全日本鍼灸学会C講座

主催:(一社)岐阜県鍼灸師会 後援:(公社)日本鍼灸師会

第1回

2019年6月22日(土) 19:00~20:30

場所:ハートフルスクエア

「災害医療概論」

講師:岐阜市民病院救急診療部

救急看護認定看護師 DMAT隊員 中野克哉 先生

終了いたしました!

第2回

2019年8月24日(土) 19:00~20:30

場所:ハートフルスクエア

「災害医療現場で他職種連携」

講師:NPO鍼灸地域支援ネット理事長 日比泰広 先生

終了いたしました!

第3回

2019年9月14日(土) 19:00~20:30

場所:ハートフルスクエア

「災害医療でのメンタルヘルス」

講師:岐阜大学学校教育講座心理学コース助教

岐阜県臨床心理士会理事 板倉憲政 先生

終了いたしました!

第4回

2020年1月18日(土) 19:00~20:30

場所:未定(じゅうろくプラザ研修室3号)

「災害医療でのリスクマネジメント」

講師:(公社)全日本鍼灸学会常務理事 清水洋二 先生

※本研修全ての受講者には(公社)日本鍼灸師会から受講証明書を発行し、災害支援鍼灸師の登録要件となります。「災害支援鍼灸師」とは都道府県鍼灸師会に登録されている鍼灸師であり、被災者が健康レベルを維持できるように、被災地で適切な医療やケアを提供する役割を担う鍼灸師のことをいう。

※災害医療に興味のある医療関係者なら、どなたでも受講できます。

～各回受講料～事前申込不要。当日お支払いください

会員:2,000円(公社)全日本鍼灸学会、(公社)日本鍼灸師会

(公社)全日本鍼灸マッサージ師会

一般:3,000円・学生:1,000円(学生証呈示)

～お問い合わせ～(一社)岐阜県鍼灸師会(HP有り)事務局(担当:藤吉)

TEL:058-234-2230 メール:gifu89shikai@yahoo.co.jp



会員の皆様へ

厚生労働大臣免許保有者証について

来年度申請開始は公益法人財団法人東洋療法研修試験財団のホームページで4月にお知らせされます。特にスキントッチ教室に参加したいという会員の皆様は必ず申請ください。

使い捨て鍼等は医療廃棄物処理委託について

医療廃棄物処理法の改正により、現在「会」で回収出来なくなっております。各個人、各施術所で、下記団体に加盟されている感染性廃棄物処理業者と個人契約をし、使用済みはりや衛生材料（綿花等）の適切な医療廃棄物処理をお願いします。

業者は、県内各地にありますので、下記のホームページで検索してください。

岐阜県産業環境保全協会 <http://www.gifu-hozen.jp/>

(公社)日本鍼灸師会メールマガジンにご登録をお願いします

隔週の予定で、一般向けの東洋医学に関する情報や話題、会員向けに全国の研修会等の情報が配信されます。是非ご登録ください。

登録ページ

<https://www.harikyu.or.jp/mailmagazine/index.html>

登録後、登録の有無がメールで返信されます。登録後に必ずご確認ください。

年会費納付のお願い

副会長・学術部長・会計 高田幸枝

▼年会費の振込用紙はゆうちょ銀行窓口で貰ってください。

ゆうちょ銀行口座番号(青色用紙):00830-8-83446

口座名義:一般社団法人岐阜県鍼灸師会

納付期限 全期一括の場合 44,000円 6月30日まで

分納の場合 前期分 24,000円 6月30日まで

後期分 20,000円 11月30日まで

期日厳守で納付の方をお願いします。

会への質問、ご意見、ご要望等は(一社)岐阜県鍼灸師会ホームページ又は直接事務局へお問い合わせください。TEL/FAX 058-234-2230

家庭用熱療法治療器 セラミック電気温灸器

管理医療機器〈クラスII〉医療機器認証番号:229AKBZX00029000

場所を選ばず 施術可能

火を使わず、煙も出ないため
施術場所を選びません。
また、重さ140gと軽量で
コンパクトなサイズです。

高精度な 温度制御を実現

設定は43℃から3℃刻みで5段階あり、
±1℃の精度で温度管理をするため、
患者様の個人差や治療内容に
合わせた施術が可能です。

※製販・製造:(株)村田製作所
測定環境下において

まるごと 消毒拭き取り可能

先端はアレルギーフリーのセラミックを
使用しており、消毒用エタノールで
全面の拭き取りが可能のため、
清潔を維持できます。

※消毒液が製品の内部に入らないように
してください。故障の原因となります。

火を使わない煙も出ない。
電気の子カラでお灸治療。



先端部分は
セラミックを
使用!

ピンポイントな 温熱刺激

先端の直径は2mm(半米粒大程度)で
形状が鋭角なため、
ピンポイントな刺激を与える
ことが可能です。

公式キャラクター
鍼水りんちゃん
@harimizurin

見やすい液晶と お知らせ機能

業界初*の現在温度の
リアルタイム表示に加え、
分かり易い通知音、消し忘れ
防止機能が付いています。

※製販・製造:(株)村田製作所調べ



■セラミック電気温灸器〈型番:CQ5000-WH/CQ5000-BK〉 ■本体カラー:○ホワイト ●ブラック
■付属品:台座、専用ACアダプタ(充電用)、取扱説明書(保証書付き)

! ご使用に際しては、付属の取扱説明書をよくお読みください !

 SEIRIN

ISO13485 認証取得

■フリーダイヤル(通話料無料)はコチラから ■詳しい情報は、当社Webサイトでもご覧頂けます

 0120-100890 <http://www.seirin.jp>

【販売業者】セイリン株式会社 【住所】〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
【TEL】054-365-5700 【FAX】054-365-5139

鍼・灸・テープ・ベッド・医療機器など、 院内用品・医療用品のことなら 『ミルキーウェイ「鍼本舗」』



岐阜県鍼灸師会会員様限定で、特別価格の商品もあります！
お気軽にお問い合わせください。

私達はお客様に喜んでいただけるよう、
「笑顔」と「安心」をお届けします！

私達は商品をお届けするだけではなく、他業界で25年間培った経験をもとに、
弊社が提携している、
物販アドバイザー・補助金コンサルタント・税理士・弁護士・司法書士・
ファイナンシャルプランナーなどグループ全体で、
治療院様を全力でサポートします。
お気軽にご相談ください。

★お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ！★

パソコンでの検索は

『鍼本舗』  **検索**

スマホなら簡単アクセス



TEL **0120-236-889**

FAX **052-715-7703**

にさんがろく はやく

・平日9:00～18:00/ 土曜日10:00～13:00
(奇数土曜、日祝はお休みをいただいています)

・24時間受付(営業時間での対応となります)

*FAX専用申込用紙あります。

 株式会社ミルキーウェイ

〒465-0025 名古屋市名東区上社3-102



インスタ始めました！
お得な情報満載！
@milkyway_hari



昇龍道プロジェクト会員企業